



平成 29 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社総医研ホールディングス
代表者名 代表取締役 小池 眞也
(コード番号 2385 東証マザーズ)
(URL. <http://www.soiken.com/>)
問合せ先 取締役財務部長 田部 修
(TEL. 06-6871-8888)

株式会社 NRL ファーマの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 19 日開催の取締役会において、株式会社 NRL ファーマ (<http://www.nrl-pharma.co.jp/>、以下「NRL ファーマ」といいます) の株式を取得し、子会社化することについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I 株式の取得の理由

当社グループは、身体や病気の状態を客観的かつ定量的に測定するための指標となるバイオマーカー技術を研究テーマとしており、その技術を主に食品等の臨床評価試験に応用して、多くの特定保健用食品の許可取得や機能性表示食品の届出に貢献してまいりました。また、当社グループは、バイオマーカー技術に基づくエビデンス（科学的根拠）の構築と活用に関する実績やノウハウ、医学界や医療界における幅広いネットワーク等を活かし、食品等のマーケティング支援、医薬品等の医師主導臨床研究の支援、化粧品や健康補助食品の開発及び販売、特定保健指導の受託をはじめとする健保組合が行う様々な取り組みの支援等にビジネスモデルを拡張してまいりました。

一方、NRL ファーマは、多機能タンパクであるラクトフェリンの販売事業の展開とカビ由来の天然物アスコロリン誘導体の医薬品としての開発を目的として平成 10 年 4 月に設立されたベンチャー企業であり、ラクトフェリンをはじめとする機能性素材の加工および用途ならびに医薬品候補の化合物等に関する特許を多数保有しています。現在、NRL ファーマは、ラクトフェリンの腸溶加工技術および脂質代謝改善用途に関する特許を大手ヘルスケア企業に導出（ライセンスアウト）しており、そのライセンス収入およびラクトフェリン原料販売を主な収益源としています。

当社が NRL ファーマの株式を取得し、子会社化する理由は次のとおりです。

1. ラクトフェリンは、脂質代謝改善、抗菌、抗炎症、免疫調節、新陳代謝向上等の多様な機能を有しており、健康補助食品、化粧品の何れにおいても有望な素材です。当社グループでは、健康補助食品事業においてはラクトフェリンを使用した健康補助食品を「イミダペプチド」に続く主力商品に、化粧品事業においてはラクトフェリンを使用した化粧品を「プラセンタ研究所シリーズ」に続く主力シリーズに育てたいと考えております。また、ラクトフェリンは、中国を中心とする海外市場においても注目度が高まっていることから、海外市場における当社グループの提携先や現地代理店を活用し、ラクトフェリンを使用した製品を海外市場でも展開したいと考えております。
2. 当社グループ はエビデンスの構築や普及に強みを有しており、一方、NRL ファーマはユニークな素材の研究開発力に強みを有していることから、相互に補完することによる事業成果の拡大が期待できます。また、当社グループでは、これまでは他社の素材を導入して製品化を行い、エビデンスに基づいて普及させていく形の事業を行ってまいりましたが、NRL ファーマの子会社化により独自性のある素材と研究開発力を持つことができます。今後は、当社グループと NRL ファーマとのシナジーを活かし、新規素材の開発にも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

3. 当社グループの有する製薬企業とのリレーションならびに学术界および医療界における幅広いネットワークを活用し、NRL ファーマの有する医薬品候補の化合物の製品化に向けた活動を推進してまいります。なお、このような活動につきましては、資金力やノウハウ等の観点から、当社グループが主体となって治験等を実施して自社製品として承認を目指すことは現実的に困難であることから、製薬企業との提携を行ってシーズとして導出（ライセンスアウト）し、ライセンス収入等を得る形で推進することを想定しております。

II 異動する子会社の概要

(1)	名 称	株式会社 NRL ファーマ		
(2)	所 在 地	神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号かながわサイエンスパーク東棟		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役会長 小池 博 代表取締役社長 星野 達雄		
(4)	事 業 内 容	・ラクトフェリンを中心とする機能性素材の開発及び販売 ・アスコロリン誘導體等の化合物をシーズとする医薬品開発		
(5)	資 本 金	64,000 千円		
(6)	設 立 年 月 日	平成 10 年 4 月 23 日		
(7)	大株主及び持株比率	安藤 信子 27.6% 自己株式 15.0% 小池 博 9.7%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決 算 期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
	純 資 産	682,289 千円	733,894 千円	692,482 千円
	総 資 産	989,223 千円	902,826 千円	899,885 千円
	1 株 当 たり 純 資 産	49,262.79 円	54,350.44 円	53,043.48 円
	売 上 高	1,773,138 千円	953,428 千円	794,622 千円
	営 業 利 益	142,220 千円	61,463 千円	28,228 千円
	経 常 利 益	123,819 千円	74,125 千円	34,626 千円
	当 期 純 利 益	87,620 千円	54,729 千円	25,301 千円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	6,326.40 円	4,053.11 円	1,938.07 円
	1 株 当 たり 配 当 金	250 円	250 円	250 円

III 株式取得の相手先の概要

現時点で決定している株式取得の相手先の概要は次のとおりです。ただし、今後、議決権所有割合を可能な限り高めるため、他の株主に対しても譲渡交渉を行うこととしております。

相手先氏名	住 所	上場会社と当該個人の関係
安藤 信子	神奈川県川崎市	該当事項はありません。
小池 博	東京都狛江市	該当事項はありません。
吉村 二郎	神奈川県横浜市	該当事項はありません。
星野 達雄	神奈川県鎌倉市	該当事項はありません。
原 征男	東京都世田谷区	該当事項はありません。
金子 和弘	東京都品川区	該当事項はありません。

IV 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

現時点で決定している取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況は次のとおりです。ただし、今後、議決権所有割合を可能な限り高めるため、株式譲渡実行日までの間に他の株主に対しても譲渡交渉を行うほか、NRL ファーマにおいて新株予約権の行使または買入消却が行われる場合はそれに応じて取得株式数や取得価額の調整を行うこととしていることから、次の内容に変更が生じる可能性があります。最終的な内容につきましては、確定し次第、改めて公表いたします。

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数： 0個) (議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	7,650株 (議決権の数： 7,650個)
(3) 取得価額(※)	株式会社 NRL ファーマの普通株式 495百万円 アドバイザー費用等(概算額) 33百万円 合計(概算額) 528百万円
(4) 異動後の所有株式数	7,650株 (議決権の数： 7,650個) (議決権所有割合：58.6%)

※取得価額につきましては、公正性、妥当性を期する観点から、当社から独立した第三者機関に財務デューデリジェンスおよび法務デューデリジェンスを依頼し、NRL ファーマの現在の状況および将来の見通し等を精査するとともに、フィナンシャルアドバイザーである株式会社三井住友銀行による株式価値の算定結果を参考にして、相手先との協議の上で決定しております。また、取得価額の全額を手元資金により充当することとしております。

V 日程

(1) 取締役会決議日	平成29年5月19日
(2) 契約締結日	平成29年5月19日
(3) 株式譲渡実行日	平成29年6月27日(予定)

VI 今後の見通し

本件による当期(平成29年6月期)連結業績予想の変更はございません。また、次期の業績への影響につきましては、NRL ファーマの次期計画を精査のうえ、次期の連結業績予想に織り込んで公表いたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成29年5月12日公表分)及び前期連結実績 (単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成29年6月期)	3,900	250	255	150
前期連結実績 (平成28年6月期)	3,213	182	191	46

以上